



コミュニティ・スクール 中目黒CSだより

目黒区立中目黒小学校
CS 会長 横溝 宇人
校長 山本 真
令和8年9月8日



目黒区としての取組 2



前号では目黒区教育委員会としての、「学校運営協議会(コミュニティ・スクール)」の取組について紹介させていただきました。今回は、「学校運営協議会(コミュニティ・スクール)」と一体的に推進されるべき「地域学校協働活動」と「地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)」について紹介いたします。



地域学校協働活動とは!

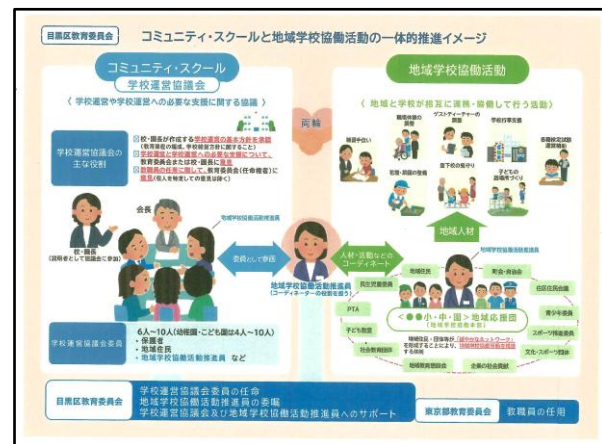
地域学校協働活動とは、地域住民、学生、保護者、NPO、PTA、民間企業、団体、機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「**学校を核とした地域づくり**」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。

また、幅広い層の地域住民・団体等が参画し、地域と学校が目標を共有しながら「**緩やかなネットワーク**」を形成することにより、地域学校協働活動を推進する体制「**地域学校協働本部(=地域応援団)**」をおきます。

地域学校協働活動の内容とは!

- (1) 学校・園における学習や教育活動に関する支援活動
(例) 職場体験の場探し・調整、学校行事支援、読み聞かせ
- (2) 学校・園における環境整備に関する支援活動
(例) 学校周辺環境整備、登下校の見守り
- (3) その他、学校・園と地域との連携・協働に関する支援活動
(例) 子どもの居場所づくり

※本校では特に(1)を中心に活動していただいています!



地域コーディネーター(地域学校協働活動推進員)とは!

教育委員会が委嘱する学校と地域の「橋渡し役」です。学校が必要とする地域人材を探し、効果的に導入する役割などを果たします。本校では、以下の2名に依頼しています。

- ・室井 理沙 様 (前学校評議員等)
- ・スカルポーネ 郁子 様 (元PTA副会長等)

各学年への支援内容を具体的に打ち合わせます!

- (例) 1年生:昔遊び 等 2年生:街探検 等
3年生:施設見学 等 4年生:お祭り学習 等
5年生:家庭科支援 等 6年生:GT紹介 等



■毎月1回程度、打ち合わせをしています!

中目黒小学校の取組



保護者の皆様・地域の皆様とともに創る学校
～誰一人取り残さない教育の実現を目指して～



【学校教育目標】○明るい子 ○考える子 ○たくましい子 ◎思いやりのある子(令和8年度 重点目標)
○「明るい子」……社会の一員として、規律を守り、多様性を尊重しつつ、周りの人と調和し、意欲的に交流しようとする態度を育てる。
○「考える子」……基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させるとともに、それらを活用して、自ら学び考え、課題を解決していく思考力、判断力、表現力を育てる。
○たくましい子……目標に向かって、心身ともに健康であきらめずに根気強く取り組む態度や心情を育てる。
◎「思いやりのある子」……人権尊重の精神を基盤とし、他者の生命及び人格を尊重する豊かな心情を育成するとともに、規範意識を高める。

第2回学校運営協議会【9/3 開催】

【第2回学校運営協議会 報告】
開催日時 令和8年 9月 3日(木) 15:00~16:30 視察者 4名 司会:横溝 会長
1 校長あいさつ(校長) 2 本日の流れについて(横溝 会長)
3 前期前半の教育活動の様子(教務主幹) 4 夏季休業中の子どもたちの様子(校長)
5 報告「地域コーディネーター活動」(教務主幹) 6 熟議「思いやりのある子」について(生活指導主幹)
7 情報交換・意見交換 8 前期後半の予定(副校長)
9 事務連絡(教務主幹)

報告「地域コーディネーター活動報告」
前回までの打ち合わせの様子等について、渡辺 五大 教務担当主幹教諭より、委員の皆様へ説明しました。委員の皆様からは、
○学年ごとに打合せのテーマはあるのか。
○ゲストティーチャーへの報償費としての予算措置は、どのくらいあるのか。
○知り合いに、講師として適任の方がいるかもしれない……。
などのご意見やご質問をいただきました。引き続き、毎月1回程度の打ち合わせを継続しながら、授業への講師の斡旋などを含め、よりよい教育活動が展開できるよう、連携してまいります。

「第3回 学校運営協議会」
10月31日(土) 11:00~
※当日は学校公開ですので、
授業もご参観いただきます。

熟議「学校教育目標(重点目標)思いやりのある子」
本年度の学校教育目標「思いやりのある子(重点目標)」についての取組を、中尾 育代 生活指導担当主幹教諭より、委員の皆様へ説明しました。委員の皆様からは、
○思いやりの心が育まれていけば、学校は、今まで以上に、子どもたちにとって、居心地のよい場所になるはず……。
○「ほんとアクション12」の文言が、どちらかというと低～中学年向きではないか。
○「ほんとアクション12」の文言を、今後カスタマイズしていくのであれば、子どもたちの意見を反映させた方がよい。
○学校内だけでなく、家庭や地域でも、できることをしていくことが重要だと思う。このような活動を増やしていきたい。
○相手の気持ちを察することで、思いやりの輪が広がる。
など、たくさんのご意見やご指摘をいただきました。昨年度まで重点目標は「たくましい子」と「思いやりのある子」の2本でしたが、今年度から、4つの教育目標の達成を目指しつつ、重点目標は1本に明確化・焦点化して、教育活動を進めております。皆様からいただきましたご意見やご指摘は教職員にもフィードバックしながら、検討すべき点は検討し、よりよい学校経営、より充実した教育活動の推進に繋げてまいります。